

2022年10月施行予定の白ナンバー飲酒検査義務対策に 鍵管理機 + アルコール検知器のご案内



鍵管理機 KM-Nシリーズ

クルマなどに乗るためには、アルコール測定を実施しないと、鍵管理機から鍵を取り出すこと（戻すことも）が出来ません。取り出されたキーは誰が持ち出しの状態かも簡単に確認が出来ます。



システム連携で鍵の貸し出し業務を省力化

PC連動・PCデータ保存 アルコール検知器 ST-3000/ ALCGuardian NEXT

(サンコーテクノ製)



飲酒により呼気中に含まれるアルコール濃度を測定し、同時に「出庫/帰庫」「測定者名」「測定日時」「測定結果」「画像」を自動的にデータ保存出来る呼気アルコール検知システムです。蓄積データは帳票として印刷することも出来ます。

*「ALCGuardian」サンコーテクノ株式会社の登録商標です。

オプション品 免許証リーダー



リーダーに免許証を読み込ませると、予め登録しておいた情報を引き出し、自動的に測定開始となります。ALCGuardian NEXT上に、免許証の番号や有効期限も表示・記録され、点呼時の免許証確認やうっかり失効の防止にも役立ちます。

記録紙で管理

アルコール検知器 ST-2000

(サンコーテクノ製)



特徴

1. 高性能センサー使用
2. IDの事前登録や測定時のID入力は不要
3. 顔写真を自動撮影して本人確認（成済まし防止）

測定方法

- ①マウスピースを取り付けます。
- ②勤務状態（出・帰）を入力します。
- ③ディスプレイ（ハーフミラー）に顔を合わせて、息を吹きかけます。
- ④測定時に顔写真が撮影されます。
- ⑤測定結果が表示され測定日時、勤務状態、測定結果、顔写真が記載された記録紙が印刷されます。



ローレルバンクマシン株式会社

2022年10月予定の白ナンバー—飲酒検査義務について

警察庁は2021年11月4日、道交法施行規則を改正し、「白ナンバー」事業者に対する**アルコール検知器によるドライバー—飲酒検査を来年10月から義務化することを決めました。**

※2022年4月から義務付ける方針がありましたが、「検知器を準備する期間がほしい」「供給が追いつかないことが予想される」といった意見があり10月に変更されています。

2022年10月予定の義務化の対象

	軽自動車	登録自動車
自家用		
事業用		

自動車運送事業者は2011年に義務化済

アルコール検査義務化の対象について（安全運転管理者制度の対象事業所）

安全運転管理者制度とは？

事業所等における安全運転の確保を図るための制度です。

道路交通法では、**安全運転管理者の選任を義務付けています。**

「交通安全教育指針」に従った安全運転教育や、道路交通法施行規則で定める、**安全運転管理業務**を行わなければなりません。
一例：安全運転の指示（飲酒確認含む）

安全運転管理者を選任しなければならない事業所（選任基準）

自家用自動車（いわゆる「白ナンバー」）を使用している事業所

安全運転管理者	乗車定員 10人以下 の自家用自動車 5台以上 使用の事業所
	乗車定員 11人以上 の自家用自動車 1台以上 使用の事業所

※一部抜粋。その他にも要件はあります。



営業車も該当



バイク1台は0.5台で計算

※3輪水色ナンバーはミニカー登録のため、1台計算

求められる内容

1. 検知器による確認
「乗車前・乗車後」に実施



2. 記録の1年間保存

